

ついに20周年! 第240回 ふらっとナイト 盛大に開催される!!!



普段よりも多くの集客があり、盛り上がる会場の様子



発行所 斜里町商工会
〒099-4113 斜里町本町29番地8
電話 0152-23-2185
FAX 0152-23-0501
e-mail: shashoko@rose.ocn.ne.jp
発行日 平成29年11月30日
編集 広報委員会
責任者 神田裕治
印刷 (有) 斜里印刷

このイベントは斜里町内で生産・加工されている特産品の魅力を多くの方々に知ってもらう



昨年度の会場の様子

12月8日(金)17時～20時30分、道の駅しゃり内にて、「知っとこ特産品フェア」が開催されます。

第9回 知っとこ特産品フェア開催のお知らせ

毎月第2金曜日の夜に開かれる「ふらっとナイト」が10月13日の開催で20年、240回の大きな節目を迎えました。
皆さんご存知かと思いますが、ふらっとナイトとは商店街を元気にと、市街地の商店会が連携して平成9年11月から始めた、ナイトバザールです。商店街だけでなく、一般のフリーマーケット参加も可能で、毎回様

々な趣向を凝らした多彩なイベントを実施しています。

記念の夜市は、少し寒い日でしたが、開場と同時にたくさんの町民が、来街し、参加店巡りや各種ゲームの参加、記念のもちまき等を通してそれぞれ交流をしていました。8年前に行ってみたい商店街の準大賞に選定されてから、町民の役に立つ、地域コミュニティの形成に貢献するべく日々毎回奮闘しています。

これからも町民皆様のご協力を得ながら地域に愛されるイベントの一つとして継続して開催したいと思っていますので、どうぞよろしく願います。

ふらっとナイト実行委員会

委員長 五十嵐一彦

らう目的でふらっとナイト開催日に合わせて行われ、今年で9回目になります。

例年企業・個人を問わず数十店の出店があり、知床しゃりブランド認証品を始め、海産物やスイーツ・窯などが展示販売され好評を得ています。斜里町には皆さんの知らない特産品がまだまだあります！この機会に道の駅に来て、お好みの逸品をお探しください。

問い合わせ先…道の駅しゃり

電話…26-8888

平成29年度 工業部会視察研修



平成29年9月13日～14日、今年も工業部会による視察研修が行われた。今年、(株)植松電機、赤平オーキッド(株)、紋別バイオマス発電所(株)の3事業所で視察を行った。その中で、(株)植松電機は20名以上の参加がないと講演を聞くことができず、山本部会長の希望により全会員に向けて参加案内を出し、部会以外からの参加者を募集した。何とか参加者も集まり今年の視察研修は20名という大所帯で参加する運びとなった。

一つ目の視察先である(株)植松電機は、民間企業でありながら宇宙開発を行う会社も経営している。(株)植松電機の本業は、建物を解体するときを使うマグネットの機械を作ること。マグネットと宇宙開発に関連することは全くない。そのような状況でも植松社長は宇宙開発をスタートさせた。

当初は植松社長が「ロケットを作る」といったとき周りからは否定的な言葉が多かったそうだ。普通ならばここで「やっぱりやめておこうかな」と思ってしまうところだが、「無理だ、できない」という否定的な言葉を「だったらこうしてみれば？」という言葉によって覆ってきた。今では一通りの宇宙開発は自分の会社だけで出来るようになり、ほかの企業が施設を借りに来るほどである。

最後に植松社長は「『だったらこうしてみれば？』という言葉で、子供たちが夢を持つ勇氣と、自信を持てるような可能性を奪わない世の中にしていきたい」と話した。

二つ目の視察先である赤平オーキッド(株)は、世界的な遺伝子レベルでの胡蝶蘭栽培を行っている。一番の強みは、一年中どの季節でも出荷できる体制が整っていることで、ハウスの中で栽培されている胡蝶蘭はすべて人の手によって管理されている。出荷時期ごとに部屋が分かれており、胡蝶蘭の状態に合わせた環境作りがなされている。遺伝子栽培なので、すべての胡蝶蘭がおおよそ同じ大きさをしている、花の枚数にも差がない。そのため、安定した価格で販売することが出来る。また、冬の寒さを乗り切るために「地中熱ヒートポンプシステム」という工夫が施されており、消費エネルギーの75%を地中熱で補うことで環境性に優れたランニングコストを大幅に低減している。

三つ目の視察先である紋別バイオマス発電所(株)は地域の林業関係者や自治体の協力を得て、オホーツク地域から出荷される森林資源を燃料として利用し、林業と発電事業が連携した事業を進めている。発電所が利用する木質チップは、隣接する工場や協力工場で製造出荷され、安定して供給される。また、木質チップのほか、輸入PKS(パームカムシエ

ル：ヤシの実の殻)や補助燃料の石炭など多様な燃料を利用し、安定した運転を行っている。バイオマス発電の特徴は、燃料を燃やした時に発生するCO₂の増減に影響を与えない「カーボンニュートラル」という仕組みにある。通常植物を燃やした時にCO₂が発生するが、成長過程の木を燃やすことによって光合成が行われ大気中のCO₂を吸収するので増減はプラスマイナスゼロになる。紋別で行われる発電規模は5万kw、年間発電機量は3億kwhでこれは一般家庭約10万世帯分の電気使用量に相当する。

以上三つの事業所に訪問し、視察を行った。今回の視察研修に参加した方々には、視察研修で学び、感じたことを会社や私生活の中で生かし、沢山の人の発信していただきたい。

青色申告会 全道大会

9月6日(水)、釧路市生涯学習センターにおいて第62回青色申告会北海道ブロック大会が行われ、斜里町からは2名が参加した。

当日は全道から500名ほどの役員が出席され、大会決議・大会報告・基調講





第38回しれとこ産業まつり（主催
しれとこ産業まつり実行委員会）
が9月24日（日）、みどり工房しやり特
設広場で今年も開催された。参加団

第38回 しれとこ産業まつり

演に熱心に耳を傾けた。
講演会には釧路新聞社代表取締役
星 匠氏を迎え、釧路ローカル線の
話をされた。その後、全国青色申告
会総連合より中央情勢報告が行われ
た。

記憶に残る壇上からの一言として、
ヨーロッパにおける小売業は地域の
文化的価値の強いものであり、存在
（事業継承）を法的に整備（保護）され

ているとの事。いろいろな問題があ
つてここ20数年来、特に地域の小売
店数は、はなはだしく減少している。
これからの後継者問題を考察する明
るいヒントを頂いた感じがした。

懇親会は釧路センチュリーキャッ
スルホテルで行われ、地元商工会
による（さすがは釧路市）賑やかで
心のこもった演出で大変楽しませて
いただいた。

体は33団体、来場者数1万人（内関
係者600人）であった。

今年も芸能人によるコンサートが
行われ松村和子さんが歌を披露した。
子供向けのキャラクターショーには
宇宙戦隊キュウレンジャーがやって
きて会場を盛り上げた。町内からも
学校の吹奏楽部や流水太鼓、ダンス
サークルなどがステージに立ち、
日々の練習の成果を発揮していた。

斜里第一漁業協同組合、斜里町農
業協同組合のブースでは例年通り長
蛇の列ができ、完売に時間はかかり
なかった。商工会からは青年部、女
性部が出店し、どちらも斜里産の小
麦を使用したお好み焼き、たこ焼き
を提供し完売となり、他にもビール
や焼き鳥などの販売も行った。

今年で38回を迎えた産業まつりだ
が斜里町民に愛されているイベント

の一つであり、多くの住民が集まる
数少ない機会なのでこれからも継続
して行ってほしい。来年は管内商工
会青年部連合会の企画する「オホー

ポテトカード誕生狂想曲

斜里ポテト協同組合は11月の第2
週からカード事業の新たな段階とな
る『オホーツクカード』から『ポテ
トカード』へと変更する最終スケジ
ュールに入った。

11月13・14・15日の3日間で参加
加盟店に対しての新しいカードシス
テムの説明（講師LSI社・佐藤氏）
と使い方を教わり、17日からスター
トした。はてさて支障なくうまく出
来るだろうか、お客様に対して不手
際が起きないだろうかと計8回にわ
たつて行われたカードの説明会。会
場の道の駅コミュニティルームは毎
回多くの参加店関係者が熱心に耳を
かたむけていた。

ポテトカード切り替え日当日、会
場の道の駅は多くの人で溢れかえつ
ており、端末を見ながらこれからの
カードへの期待をつぶやく人もい
た。尚、ポテト協同組合は少しでも
スムーズにカード交換業務が進むた
めにと、早期カード交換者を対象に
100ポイントのサービスを実施し
た。

まだオホーツクカードからポテト
カードに更新していない方がいれば、

ツクフェスティバル」が産業まつり
に合わせて斜里で行われる。来年は
今年よりも多くの集客があることを
期待したい。

早急にポテトカード
へ変更していただき
たい。

詳しいことや、不明な点がありま
したら、斜里ポテト協同組合までご
連絡ください。

電話 2310902

2618240（道の駅内）



カード更新初日の会場の様子

11月は労働保険適用促進期間です!

事業主の皆さん。「労働保険」の加入はお済みですか?

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務付けられております。

まだ労働保に加入していない事業主の方は、速やかに最寄りの労働基準監督署または公共職業安定所（ハローワーク）でご相談ください。

もちろん商工会でもご相談をお待ちしております。

問い合わせ先：厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課（011-709-231）
または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所（ハローワーク）

はまなす



今月オホーツクカードがついに非接触型のものに変更になった。その名もポテトカードである。操作する端末にはタブレットが使用されており、時代も変わったなと実感させられる。

近年では至る所でこのようなタブレットの利用、非接触型のカードの利用が行われている。飲食店など、テーブルに一台タブレット形式のメニューが置かれていて、店員を呼ぶことなく注文することができる。非接触型のカードを利用できる場所で代表的を言えば駅のホームがあげられる。改札を通るときにあらかじめカードに入金しておくことで、切符を買うことなく改札を通過するこ

とができる。このように様々な場面でデジタル化が進められている。斜里町でも機械を導入しているお店も見かけるようになってきた。利用方法も難しくないのでぜひこういったシステムに慣れていつてほしい。そう遠くない未来たくさんさんの場面で、今まで人のやってきた作業が機械一つで行うような時代になると思う。これからの人の役目は機械の不具合をチェックしたり修復したりすることのほうが多くなってくるのではないかな。

「備えあれば憂いなし」 前述したような未来が来た時に何も知らないで、生活することも困難になってしまふ。今のうちにたくさんさんの経験を積んで、様々なデジタル機器と向き合って生活してほしい。

お知らせ

○青色決算説明会

●とき 12月8日(金) 10時～12時

●ところ 産業会館2階 大ホール

○第242回ふらつとナイト

(同時開催 知つとこ特産品フェア)

●とき 12月8日(金) 19時～22時

●ところ 道の駅しやり特設会場